

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-110	A-142	24-051	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Volume of alcohol intake, heavy episodic drinking, and all-cause mortality in Spain: A longitudinal population-based study スペインにおけるアルコール摂取量、大量飲酒と全死因死亡率：縦断的地域住民対象研究			
執筆者			
Galán I, Fontán J, Ortiz C, López-Cuadrado T, Téllez-Plaza M, García-Esquinas E.			
掲載誌			
Addict Behav. 2024 Nov;158:108108. doi: 10.1016/j.addbeh.2024.108108.			
キーワード		PMID	
アルコール、大量飲酒、死亡率、コホート研究、スペイン		39033565	
要 旨			
<p>背景：アルコール摂取が健康に及ぼす影響については、特に少量摂取の場合、依然として議論の余地がある。そこで、既知の多くの方法論的問題を最小限に抑えつつ、アルコール摂取量および過度の断続的飲酒（HED）と全死因死亡率との関連を推定した。</p> <p>方法：2011～2012年のスペイン国民健康調査と2014年の欧州健康調査のデータ（15歳以上の43,071人）を使用し、2021年12月時点の死亡記録と紐づけた。一度も飲酒をしたことがない者（非飲酒者）、過去飲酒者、まれな偶発的飲酒者（≤ 1回/月）、頻繁な偶発的飲酒者（< 1回/週$\sim > 1$回/月）、常用飲酒者（≥ 1回/週）に分類し、常用飲酒者は、さらに摂取量（$> 0 \sim 10$g/日以上、$10 \sim 20$g/日以上、$20 \sim 40$g/日以上、40g/日以上）で分類した。HEDは、4～6時間以内に男性6杯以上、女性5杯以上の標準的飲酒（10g）と定義した。Cox回帰分析を用いてハザード比（HR）を算出し、社会人口統計学的変数（性別、年齢、教育歴等）、生活習慣因子（身体活動、地中海食遵守度等）、健康状態（主観的健康観、機能的制限、慢性疾患既往歴）、アルコール摂取量またはHEDで調整した。</p> <p>結果：まれな偶発的飲酒者に比べ、非飲酒者（HR=1.30, 95%CI: 1.14-1.47）、過去飲酒者（HR=1.32, 95%CI: 1.15-1.50）で死亡リスクが高かった。20g/日未満の摂取量では死亡リスクに差は認められなかったが、20～40g/日（HR=1.29; 95%CI:1.05-1.58）と40g/日以上（HR=1.57; 95%CI:1.14-2.17）では死亡リスクが上昇した。HED歴のない者に対し、週1回のHED経験者のHRは1.31（95%CI: 0.98-1.75）であった。1日あたり20gを超えるアルコールを摂取する常用飲酒者は、まれな偶発的飲酒者と比べて死亡リスクが有意に高く、HEDを行う者（HR=1.72; 95%CI: 1.26–2.35）と行わない者（HR=1.33; 95%CI: 1.10–1.61）とのリスク差は著しかった。</p> <p>結論：まれな偶発的飲酒者と比較して、少量飲酒は死亡リスクに影響を及ぼさなかった。一方、非飲酒者、過去飲酒者、常用飲酒者（飲酒量20g/日以上）の死亡リスクが高く、週1回以上HEDを行う人は死亡リスクが高かった。</p>			